

## 令和4年度 高崎経済大学同窓会総会

01-04

同窓会の役割、  
在学生との関わり

05-06 卒業生に聞く！

07-08 研究室紹介

09-10 学生クローズアップ

11-12 学科ニュース

13 鶴鷹祭 / 三扇祭

14-15 たかけいINFORMATION



高崎経済大学同窓会



no.

110

# 同窓会の役割、 在学生との関わり

## 同窓会について

高崎経済大学の同窓会は、会員の親睦を図り、大学の発展に寄与することを目的として1965年に設立され、まもなく60周年を迎えます。「同窓会ではどんなことをしているの?」「在学生でも同窓会の活動に参加できるの?」そんな皆さんの疑問に答えるべく、今回は同窓会の活動内容や精力的に活動する会員の方々を紹介します。卒業を控えた4年生は要チェック!

## 同窓会

正会員 約39,000人 → 準会員 約4,000人

## 同窓会とは?

同窓会は、正会員（卒業生）と準会員（在学生）で構成されています。在学生は、同窓会会則第5条第2項の規定により、入学時に同窓会の準会員として全員入会し、卒業と同時に正会員として登録されます。北はオホーツク支部、南は鹿児島支部まで、現在30支部、約39,000人の卒業生が入会しています。同窓会では、在学生の皆さんが、より楽しく有意義な学生生活を送れるよう、三扇祭・新入生歓迎会・クラブ活動等への資金援助、新入生・卒業生への記念品贈呈などのほか、以下のような様々なサポートを行っています。

## 同窓会事業



### 三扇賞・奨励賞表彰

スポーツ、文化及び学術等の振興に努め、大学の発展に寄与した学生に対して、その功績をたたえ表彰し、資金援助を行っています。

令和4年度  
第65回三扇祭実行委員会 奨励賞



### 備品寄贈

令和5年度はテント20張と  
テント用ウエイト40個を寄贈しました。

### 過去の寄贈品 (直近、一部のみ掲載)

- 文化サークル棟の  
プロジェクター  
およびスクリーン
- 1号館の屋外電波時計
- 図書館ロビーのテーブル、  
チェア、新聞掛け

### 同窓会給付金

保護者を取り巻く経済環境の激変で、突発的に修学困難に陥った学生に対し、修学の継続を目的とした給付金を支給しています。

### 学生就職支援

全国で働くOB・OGが、地元や東京において開催する就職相談会やOB・OGを大学に招いて行う相談会といった、就活に役立つ情報を収集することができる交流イベントを実施しています。また、企業や自治体で人事を担当した方や企業経営者を招く、模擬面接会やOB・OG訪問サポーターなど幅広い就職支援を行っています。

## 同窓会本部総会

3年に1度、同窓生ネットワークの強化、事業報告等を目的とした全同窓生対象の総会を開催しています。また、各支部においても定期的に総会を開催し、同窓生同士のつながりを強め、各支部主導で行われる就職支援活動に向けた準備を進めています。今回は令和7年を予定しています。



## 同窓会支部紹介

### 札幌支部



執筆者紹介  
■氏名 能登谷 聡  
■所属支部 札幌支部・事務局長  
■卒業年度・学部 昭和62年3月卒・経済学部経済学科  
■卒業期 第28期

札幌支部は令和6年に設立55周年を迎え、全支部の中でも歴史は古い方です。現在の会員数は約800名強です。会員数規模は、全支部の中で三番目に多いと聞いています。札幌支部会員の中で一番古い会員には、2期生（昭和36年）の卒業生がいます。また、同窓生の就職先は、業種として多岐にわたっていますが、道内で比較的名義が高い企業・団体等が多く見られます。とりわけ道内に本社がある銀行・信用金庫などの金融機関や、北海道庁、札幌市役所などの地方公共団体への就職実績が多いことが特徴といえます。当支部では年間を通じて大きな事業が二つあります。まず一つ目は、定期総会・懇親会の開催です。事業活動報告や事業計画及び決算・予算の承認、役員・幹事の選任などを行います。そして、懇親会を通じて会員の交流を積極的に図っています。群馬県産品がもれなく当たる抽選会はとて好評です。また卒業後5年以内の会員については、懇親会費が半額になる特典があります。次に二つ目ですが、これは「就職支援相談会」の開催です。毎年、8月～9月頃に札幌市内の中心部にある札幌経済センタービルの一室を借りて、開催しています。例年、10～20名の現役学生（1年生～3年生）が参加されており、同窓生10～15名が相談員として対応しております。現役学生の皆さんは、この相談会を通じて、現実世界を広く知り、関心のある分野の知識を深められており、その後道内の希望した企業等に毎年多くの方が就職しています。このことは札幌支部の伝統といえることができます。このような同窓のご縁があった方たちは、卒業後の同窓会活動にも協力的ですので、私どもとしても、とてうれしい限りです。札幌支部は「愛・慈悲・仁」をモットーに、「同窓の絆」を大切にしています。卒業後、北海道内に就職、または居住された場合は、出身地を問わず、ぜひ札幌支部に参加してみてください。



### 関西支部



執筆者紹介  
■氏名 川原畑 浩  
■所属支部 関西支部（関西三扇会）・支部長  
■卒業年度・学部 昭和53年3月卒・経済学部経済学科  
■卒業期 第19期  
■略歴 60歳まで建設資材関係の会社で役員を務め、その後シルバー人材センターの職員となり現在に至っております。学生時代は、バスケットボール部に所属しておりました。

私は、同窓会に、バスケットボール部の先輩からのお誘いで出席するようになりました。関西支部（関西三扇会）は、約700名の会員により構成されておりますが、実際の活動人数は200名程度です。同窓会の活動として、在学生への就職活動の助力と就業支援に積極的に参画しております。毎年11月の第二土曜日に開催される総会は、賑やかで、楽しく、関西らしいおもしろさがあることで有名です。1年に1度の総会での再会を楽しみにしている会員がたくさんいます。群馬県人会とも、連携を図り、それぞれの活性化に努めています。また、レクリエーションとして、春と秋にハイキングを実施し、会員の交流を図るだけでなく、ご家族やご友人の参加も促しております。関西三扇会のメンバーは、新社会人として関西に戻って来たり、転勤などで関西に着任するよう時は、関西三扇会を頼りにして頂きたいと思っています。



## 同窓生インタビュー

### 加藤 春菜 Profile

栃木支部（栃木三扇会）所属  
平成31年3月 経済学部経営学科 卒業  
第60期生  
弓道部



#### ①自己紹介、現在の仕事について

現在は栃木県に本社を置く株式会社TKCに勤務しております。新入社員の時に東京都に配属され、新宿区を中心に会計事務所や企業に対し、会計システムの導入及び提案、納品の支援をしています。会計事務所や企業の現状に合った提案書を作成、システムのデモを操作しながら導入するメリットを提示し、経理業務の効率化を中心に提案活動をしています。ルート営業を主としているため、日々顧客と信頼関係を構築しながら業務に励んでおります。

#### ②学生時代の思い出

学生時代は学業の他、部活動やアルバイトに励んでおりました。学生時代の思い出は、週に3〜4回の弓道部の活動です。弓道は個人戦の他に団体戦もあり、チームの仲間と切磋琢磨しながら練習をしておりました。アーチェリーと異なり、弓道的にあたらぬことの方が多く、大学入学と同時に弓道を始めた私は当初挫折そうになりましたが、今度はあてに行くようになってしまい、綺麗な射形が保てなくなるなど、よく壁にぶつかっておりました。その結果、どんな困難があっても、突破口を考え続ける忍耐力は今の社会人生活で活かしていると思っております。高崎経済大学は卒業してしまいましたが、現在は同窓会栃木支部の一員として関わることができている点を嬉しく思います。

#### ③同窓会の活動について

同窓会の活動では、私は主に就職相談会の相談員をさせて頂いております（2023年で3回目）。学生のお話を聞きながら、少しでも不安を取り除いたり、やりたい仕事を見つけるお手伝いができればと思っております。私も学生時代、三扇祭で銀行出身の方が栃木支部の同窓会のブースに参加されていたことがきっかけで、就職の相談に親身になっていただきました。当初、金融機関への就職を強く志望しておりましたが、その方に相談するなかで、仕事に対する考え方や、何をやりたいか等を改めて考える機会を得ることができ、現在自分に合った企業に就職し、充実した日々を送ることができております。会社の配属により現在東京都に住んでおりますが、栃木県出身であることや栃木県に本社を置く会社に勤めていることから、同窓会は栃木支部に所属しております。寂しいことにUターン就職はできておりませんが、栃木支部の同窓会の一員として活動することで、出身地域に対する貢献が少しでもできればと考えております。

#### ④在学生へのメッセージ

最後に、社会人は大学生と比較し、平日の殆どを仕事にあてることになるため、コミュニケーションが狭くなる人が多いです。社会人サークルの他に、同窓会に所属することで様々な業種、立場、年齢の人と関わることができます。ぜひ、卒業後は出身地の同窓会への参加も前向きに検討してみたいかがでしょうか。



### 川原 焔浩 Profile

関西支部（関西三扇会）所属  
昭和53年3月 経済学部経済学科 卒業  
第19期生  
バスケットボール部 真保ゼミ



#### ①自己紹介、現在の仕事について

60歳から現在68歳まで、大阪府門真市でシルバー人材センターの職員をしています。これまでシルバー人材センターの仕事といえば、清掃・除草・剪定などを60歳以上の会員さん達が行うのがメインになっていました。それは、『臨・短・軽』という40年前の合言葉が存在しているからと言っても過言ではないでしょう。『臨・短・軽』とは、臨時的・短期（時間）・軽作業を意味します。そうした前述の請負の仕事だけでなく、保育・事務・工場内作業・運転士・販売員などの労働者として幅広く働ける場を提供する仕事をしています。60歳以上の方への派遣事業だと思ってください。高齢化する高齢者の生活の安定と生きがい就労に寄与しています。こうした取り組みで、会員の入会率は全国1300近くのセンターの中で5位、派遣契約実績でも全国1位を狙える順位となっております。こんな訳で、門真市シルバー人材センターは日本一元気だとマスコミの取材もたくさん受けております。同年齢の会員1700名と楽しく仕事をしています。



#### ②学生時代の思い出

バスケットボール部で汗を流しました。講義には出席できないことがあっても、夕方4時から今はない古い体育館での練習は皆勤賞でした。群馬県代表チームとして関東大会に出場したり、北関東5大学リーグでも優勝することができました。3年生からのゼミでは、東京から来られる先生が、大学で1泊されるので、ゼミ生仲間と教室へ押し掛け、持参の酒を飲みながら夜更けまで語り合いました。当時のバスケットボール部の顧問の椎名教授も、ゼミの真保教授も既に、ご逝去されましたが、両方の仲間との付き合いは続いております。また、バスケット部のOB会には毎年参加しております。

#### ③同窓会の活動について

関西三扇会で、所在が分かり同窓生名簿に記載のある同窓生は、第6期生から令和5年3月卒業までで約700名です。在学生への就職活動支援、卒業生間の人脈作りにも成果を見出し出ております。また、こうした活動は役員・学年幹事を中心に計画し、総会で決議しております。年2回実施のハイキング、総会は毎年開催し、会員の交流・親睦の場となっております。その様子は、令和5年11月の上毛新聞にも掲載されました。在学生の総会出席も歓迎しております。

#### ④在学生へのメッセージ

今も50年前も、故郷を離れた多くの経大生に、温かく接して頂いた高崎の方々と同様に、関西三扇会のメンバーは、新社会人となる皆さんの熱烈応援団になれると思っております。是非、同窓会支部である関西三扇会に声を掛けてください。

## 新規事業について

同窓会では、大学と連携して新たな取り組みを行っています。いずれも皆さんのキャリア形成に活かせる事業ですので、積極的に利用しましょう。

### 国内研修プログラム 「先輩に会いに行こう」

帰省時の利用もおすすめ！

学生が全国各地で活躍している卒業生を訪問し、社会人の声を聞き行動しつながることにより、地域を深く知り、企業の業種研究とともに社会へ踏み出すチャレンジ精神の醸成を目的としています。

<p style="text-align: center;"><b>対象学生</b></p> <p style="text-align: center;"><b>学部1年生及び2年生</b> (特別聴講生、交換留学生、科目等履修生、研究生、研修生及び聴講生を除く)</p>	<p style="text-align: center;"><b>研修期間</b></p> <p style="text-align: center;"><b>夏期休業中、 冬季休業中または 春季休業中の期間内</b> (学業に影響のない土日祝も可)</p>	<p style="text-align: center;"><b>研修内容</b></p> <p style="text-align: center;">下記2つのプログラムの内、 いずれかを選択</p> <p style="text-align: center;"><b>①学生企画プログラム</b> 自らテーマを設定・企画し、キャリアサポーター名簿に登録の同窓生（2人以上）を訪問し、業種研究を行う</p> <p style="text-align: center;"><b>②同窓会企画プログラム</b> 同窓会の各支部が行う就職相談会に参加</p>	<p style="text-align: center;"><b>補助金</b></p> <p style="text-align: center;"><b>上限10万円</b> (往復交通費・宿泊費)</p>
--	--	---	--

### 高崎ふるさと大使 学生サポーター

「高崎ふるさと大使」は同窓会全国30支部の支部長が、高崎市長から委嘱されたものです。主な役割は、同窓生にとって第二のふるさとである高崎市と、母校である高崎経済大学を全国にPRすることです。このPR活動をサポートするため、学生の皆さんに「高崎ふるさと大使学生サポーター」になってもらい、高崎の店名・名所や「高崎ふるさと大使」の思い出の場所等に向向いて取材をしてきてもらいます。取材に係る費用は同窓会で負担します。

<p style="text-align: center;"><b>対象学生</b></p> <p style="text-align: center;"><b>学部生・大学院生</b> (特別聴講生、交換留学生、科目等履修生、研究生、研修生及び聴講生を除く) ご登録はコチラ▶</p>	<p style="text-align: center;"><b>取材費</b></p> <p style="text-align: center;">取材に係る費用は 同窓会で負担</p>	<p style="text-align: center;"><b>活動内容</b></p> <p style="text-align: center;">高崎ふるさと大使学生サポーターに登録後、同窓会事務局より依頼された体験取材を実施し、取材記事を作成する</p>	<p style="text-align: center;"><b>PRのテーマ</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①食 </li> <li>②観光 </li> <li>③文化・芸術 </li> <li>④スポーツ </li> <li>⑤特産 </li> </ol>
---	--	---	---

## 同窓会活動への参加について

在学生の皆さんは卒業と同時に同窓会の正会員に登録されます。所属支部は実家の住所地によって決めますが、同窓会ホームページから登録情報を変更することも可能です（卒業後の居住地など）。同窓会の活動に興味を持った方、就職相談会等への参加を検討している方はぜひ、同窓会ホームページをご覧ください。

同窓会 HP <https://www.takakeidai-doso.gr.jp>



# 卒業生に聞く!

令和6年3月卒業

- Q1. 高崎市の率直な印象
- Q2. 高崎周辺のおすすめグルメ
- Q3. 大学生活一番の思い出
- Q4. 後輩へのメッセージ



地域政策学部地域づくり学科  
**田嶋彩夏**  
青森県立三本木高等学校出身

**私**はマンドリンクラブというサークルに所属しています。大学生になって初めてマンドリンという楽器に触れましたが、一緒に入部した同級生や優しい先輩たちから一から演奏の仕方や基礎を学びました。最初はとて大変で楽器に慣れるまで非常に苦労しましたが、演奏会などに向けてたくさん練習しました。その結果仲間と美しいハーモニーを奏でることができ感動した瞬間は今でも忘れることができない思い出です。また、大学生になって演奏会などの主催を自分たちで一からやるということは初めてで、会場の確保やパンフレットの作成など高校生の時にはやらなかった主催者の裏方の仕事をやり大変さを実感しました。そんな思いをした分、お客様が私たちの演奏を聴いて楽しそうに笑みを浮かべていたのを見た時はとてもうれしかったです。このように大学生になって大変な思いももちろんしましたが、達成感や仲間たちと分かち合えた時の感動は今までに感じられないものがありました。

また、ゼミでは安中公害というまだ完全には解決されていない公害問題について、被害に遭われた方やその親族、行政などに聞き取り調査を行い、調査報告書を作成

しました。聞き取り調査や報告書の執筆にはつらいことも多く、正直なぜこのテーマを選んだのかと後悔したほどでした。ですが今まで考えたこともなかったことについて、多くの人が困っていることや多くの問題が未だに存在しているのだと痛感しました。私はこの経験を通して、自分には見えていないところで苦しんでいる人が大勢いること、行政や社会の動きを注視しておくことの必要性を学びました。

大学生生活ではたくさんの学びを得ることができます。皆さんには大学生活でたくさんのことにチャレンジし、学んでいく姿勢を大切にしたいと思います。



大学生生活ではたくさんの学びを得ることができます。皆さんには大学生活でたくさんのことにチャレンジし、学んでいく姿勢を大切にしたいと思います。



経済学部  
**小室 翔平**  
茨城県立水戸第一高等学校

- A1. 地元と都心の中間にあって、非常に交通の便が良いと思いました。
- A2. 草木万里野というレストランです。アルバイトの休憩中にお世話になりました。
- A3. 体育会本部の仕事で「からすがわ」の制作をした事です。
- A4. 4年間は想像よりはるかに短いです。存分に楽しんで下さい!!



経済学部  
**高田 優心**  
新潟県立長岡高等学校

- A1. 程良く田舎、程良く都会
- A2. 天ぶら剣崎
- A3. 陸上の大会で自己ベストを出した瞬間
- A4. どんな大学生活を過ごすかは自分次第です。後悔がない4年間を送ってください!



経済学部  
**山口 達徳**  
静岡県立三島北高等学校

- A1. スーパーも多く、ごはん屋も多く、暮らしやすい。
- A2. 麺やまる喜
- A3. フレキャン
- A4. 大学生活あつという間なので全力で楽しんでください



経済学部  
**田頭 陽斗**  
岩手県立盛岡第三高等学校

- A1. 風は強くて冷たいが、人の心は穏やかで温かい。
- A2. からさき食堂、ゴールドセブンのラーメン
- A3. 友人と過ごした何気ない日々が結局一番かけがえない時間だったと感じています。
- A4. 4年という時間はあつという間に過ぎていきますよ。



地域政策学部  
**小黒 愛花**  
高崎市立高崎経済大学附属高等学校

- A1. あったかいところです。人があったかいところが好きです。あつたけです。
- A2. 大者です。汁なし! アブラはいっぱいだとうれしいな。
- A3. 鶴鷹祭です。運営に携わり、何とか成功を収めることができたのが一番の思い出です。
- A4. 自由に使える時間が多いからこそ、後悔のないように満喫しきってください!



地域政策学部  
**基 大地**  
群馬県立富岡高等学校

- A1. 車があればなんでもできるまち
- A2. 豚骨ラーメン だるま大使
- A3. 大学生活全部
- A4. あんまりハメを外しすぎないようにしたいことを何でもしてください。



地域政策学部  
**浦本 秀磨**  
埼玉県立浦和西高等学校

- A1. 田舎以上都会未満
- A2. Hook
- A3. 本学で過ごした日々がすべて思い出です!
- A4. このコーナーで取り上げられる人材になろう!



地域政策学部  
**高井 美由貴**  
群馬県立高崎女子高等学校

- A1. ご飯には困らない気がします! スタバいっぱいあります。
- A2. パスタ、ラーメン... 麺!
- A3. 部活に入ったこと。部外交流もあって、たくさんの人と出会えた。
- A4. ぜひ部活に入って、最高の思い出をつくりましょう!



地域政策学部  
**柁 真也**  
明和県立高等学校

- A1. 交通の便が良く他県からも来やすい市です。
- A2. フタツメというラーメン屋さんです。こぶしくらいの大きさの唐揚げが絶品です。
- A3. 体育会本部での活動です。他の学生には出来ない多くのことをみんなと協力してやり遂げたことです。
- A4. 長いようで短い大学生活を楽しんでください。

# 大学教員も転職が当たり前の時代ですが、 縁あって長く勤めています。

## 1 プロフィール

新潟県新潟市の出身です。祖父母の家が新潟駅の裏手にあった車庫基地のすぐそばだったので、特急電車や機関車に引かれた客車が出入りする様子を飽きることなく眺めている子供でした。その影響で鉄道が好きになりました。新幹線が開通する前の「とき」で東京へ行ったこと、機関車を増結した普通電車で軽井沢・横川間を行き来したことなどは良い思い出です。現在も長期の休みには鉄道を使って旅をすることが趣味になっています。

就職までのモラトリアムを得るつもりで地元の国立大に進みましたが、そこで今の研究テーマに出会い、民間、大学に関わらず研究職に就くのも悪くないと、一念発起して大学院に進学しました。当時は大型コンピュータを使っただけのデータ分析がパーソナルコンピュータでもできるようになる黎明期でした。そこで、欧米の論文に掲載されている分析を再現してみようと、あれこれいじっていた経験が研究者としての強みになりました。

高崎経済大学には1997年から勤務しています。居心地も良く、研究活動で出かけることの多い東京と、実家のある新潟との中間という利便性もあり、25年以上もお世話になっています。



経済学部経営学科 教授

# 阿部 圭司

阿部 圭司 Keiji Abe

研究分野：  
証券市場分析、企業価値研究、金融リテラシー  
学位：修士（商学）（早稲田大学）  
担当科目（学部）：企業財務論、証券論、デリバティブ論、基礎演習、演習I・II

## 2 研究テーマ

主な研究テーマは証券市場分析です。証券市場では、投資を通じて儲けたい、という投資家の思いや行動が株価等の変化という形で現れます。資金の効率的な配分機能という証券市場の役割とは別に、経済学というフレームの中で、人々の思いや行動が数字になって観察できる最も大きな実験場の1つが証券市場です。決算内容や企業に関わるニュースといった情報に対し投資家がどう受け取るのか、を株価等の変化から読み取ることで、投資家や市場に求められる要素、情報は何か、を考察することに魅力を感じています。また、近年では貯蓄から投資へのシフトが呼びかけられていることもあり、投資をする（しない）人の特徴・要因の1つとして、金融リテラシー教育とその投資行動への影響についても関心を持っています。

## 3 ゼミでの活動内容

ゼミでは企業価値評価と資本市場との関連について学びます。2年生では財務諸表のしくみを理解すること、3年生では財務諸表の数値に基づいて企業価値を評価すること、そして4年生では企業自身、あるいは市場環境の変化によって企業価値、資本市場での評価がどのように変化するかについてテキストや論文を輪読します。また、4年生は各自の関心の下、データの分析を通じた卒業論文の執筆を行います。これら教室内での学びと平行して2年生、3年生は日経ストックリーグという投資コンテストにも参加しています。組織論、経営戦略論、マーケティングなどの様々な研究成果、財務指標を利用した経営分析、ポートフォリオ理論などに基づき、実際の銘柄を対象にファンドを組み、仮想投資をする、というコンテストです。投資パフォーマンスが評価されるのではなく、提出されたレポートを通じて生成したファンドのテーマ設定や銘柄選択は合理的か、企業への取材やフィールドリサーチは充実しているか、などが評価されるため、卒業論文を執筆する練習にもなっています。毎年、とはいきませんがゼミ生のチームが入賞しています。同時に高大連携事業で附属高校の生徒たちとコラボゼミを実施しており、ゼミ生が指導する高校生チームは入賞の常連となっています。

# 積極進取

## 1 プロフィール

出身は鹿児島県日置市伊集院町です。幼稚園から高校まですべて「伊集院」という名を冠する学校に通いました。

上京し、法学部に入り、紆余曲折を経て卒業後は大学院に進学するのですが、そこで恩師のご指導を受けたことが一番の人生の転機でした。もっとも当時は研究者のイメージが掴めず修士課程修了で就職し海上自衛官になりました。

その後、「職務に精励」しながらも大学院の研究の雰囲気をついに懐かしく思うようになり、戻ってきてもいいよ、という恩師の言葉（後に私の勘違いと判明しましたが）にすがって大学院に戻り、研究を志すようになりました。

そこから決して順調な道ではありませんでしたが今年の4月に高崎経済大学に赴任して以降は、研究への意欲を取り戻しつつあります。

趣味は筋トレ、散歩、猫を撫でることです。

## 2 研究テーマ

私の専攻は行政法と言い、行政と私人との諸関係を分類・整理し、そこに適用されるべき法原理を探索するという学問です。

私がこれまで研究領域としてきたのはいくつかありますが紙幅の関係から一つ紹介しますと「行政の民間化に対する法的枠組みのあり方」を考えるとというものがあります。

近年、公共サービスの多くが民間の手に委ねられています。それは行政サービスにおける効率性・利便性を向上させることを期待してのことですが、行政サービスにおいては、効率性・利便性以外にも考慮しなければならない利益も多くあり、それら利益の性質によっては、企業がそれらを擁護することがそもそもそぐわないこともあります。

「民間化」が進む公共サービスの領域において「公」の関与はどうあるべきか、主に法学的観点から、具体的にはドイツの議論を参考にして、分析、検討しているところです。

山田 真一郎  
Shinichiro Yamada

研究分野：行政法  
学位：修士（法学）  
（早稲田大学大学院法学研究科）  
担当科目（学部）：行政法総論、行政法各論、法学、初年次ゼミ、基礎演習



地域政策学部 地域政策学科 准教授

# 山田 真一郎

## 3 ゼミでの活動内容

課題に直面した時に、一定の視点からそれを解決するための道筋を論理的に検討し、他者と協調してそれらを克服していく。公務員のみならず、企業においてもそのような力や姿勢が、求められます。私のゼミではそのような力や姿勢を培う鍛錬をしていきたいと思っています。

2年基礎ゼミから3年次前半は、社会のトピックを取り上げ、これに関連する憲法・行政法・民法等の論点を教員が解説し、それらについての知識・理解を深めた後、関連する論点について皆でグループディスカッションを実施します。

3年次後半は、教員ではなく、学生自らが班を編成して、班ごとに各々のグループが選んだテーマについて発表をします。

4年次には、学生が自ら個々に研究テーマを設定し、教員の助言・指導の下に卒業論文を執筆します。

それ以外にも、ゼミ発表会への参加や他大学との合同ゼミ合宿など学内外のアカデミックな企画に参加をする予定です。



# 学生クローズアップ **CLOSE UP STUDENTS** III



念願のインカレ出場、堂々の全国3位

## 高崎経済大学ソフトボール部とは

私たちソフトボール部は、大学生という「人生の夏休み」とも揶揄される青春の1ページをソフトボールというスポーツに捧げた集団である。部員は、出身地も違えば、これまでのソフトボール経験の有無、高校野球を経験していたり、帰宅部であったり多種多様な人材がここでは大学ソフトボールに打ち込んでいる。週5日間、朝8時から練習をするというのが主な活動になる。大学生にとっては、早朝ともいえる時間から練習に励む姿は、勇ましく思える。また、このような活動の形は、創部初期から変わらない伝統であるとOBから伝えられた。ソフトボール部の歴史は古く、男子ソフトボール競技のインカレ第一回大会（1966）に出場し準優勝をするという所から始まり、現在まで男子ソフトボールの王者に君臨する日本体育大学としのぎを削っていたという時代もあった。しかし、近年においては強豪私立大学の台頭によ

りインカレで上位に食い込むことはおろか出場自体が大きな壁になっていた。実際に2018年に出場した所から今年まで4年間、高崎経済大学という名前はインカレの舞台から遠ざかっていた。そして今年は念願のインカレ出場、インカレ3位という素晴らしい成績を残すことが出来た。

## インカレ出場

私たちは、今年の一年間「インカレ出場」という目標を掲げて活動をしてきた。強豪大学が集う関東地区においてインカレに出場できる大学はたったの四校しかない。だが、今年私たちは、その権利を勝ち取ることが出来た。



しかし、ここで私たちが直面した問題は、「インカレに出た後の目標が無い」という事だった。今のチームの選手は誰もインカレに出たことが無い。その為、大会に出ることに精一杯になってしまい、燃え尽き症候群のようにになっていた。しかし、顧問である高橋伸次教授からの熱いエール、大木監督からの全国大会というステージの持つ魅力を教えて頂き、私たち選手一同はもう一度真剣にソフトボールに向き合うようになった。夏休み中も就活から戻ってきた4年生も含めてチーム一丸となって活動を続けた。その結果、インカレ当日にはこれまでで一番精神的にも肉体的にも良い状態を持ってることが出来たと思う。



インカレは、富山県で開催された。

大会初日、大阪体育大学にまさかの7-0のコールド勝ち。大会2日目、高知工科大学に4-3で勝

ち、東京理科大学に8-5で勝利した。大会3日目、岐阜聖徳学園大学に4-10で敗北。インカレの結果は、2003年の大会以来の全国の舞台での3位入賞となった。初戦からすべての試合で全く余裕が無く、ギリギリのところまで勝ち切ることが出来たことがこのような結果に繋がったと考える。この大会において小さな公立大学でありながら他の大学よりも高い順位を取ることが出来たという事は、私たちにとって大きな喜びとなり、自信となった。

## 今後の目標

今回のような順位を残すことは難しい。しかし、毎年コンスタントに出場を続けられれば、可能性は出てくる。小さな大学ではあるけど今大会においてはほかのどの大学よりも楽しくプレーをする事、自分自身のやりたいことを表現するという事。

この点においては自信をもってやり切れたと思う。このようなことが継続してできるチームになる事が今後の目標になると思う。また、今年はオフィシャルな大会の全てにおいて表彰を受けることが出来た。しかし、いずれの大会も優勝は叶わなかったため、今年こそは優勝という経験ができるように頑張っていきたい。

## 最後に

私たちは、常に新しい部員を求めています。ソフトボールや野球をやってきた人はもちろん、今までの受験やスポーツでやり残したことがある人には誇れる成績を得ることが出来るという可能性があります。また、大学から高崎に来て不安がある人には新たな友達、家族のような存在を得ることが出来る環境になっていると思います！現在の部員は、ソフトボールをやったことが無い人が大半だし、高校の時に帰宅部だった人もいますし、そういう心配も要りません！それでも、大学生活において週5日間を取られることは、苦行に感じるかもしれません。しかし、心から喜んだり、悔しがれたりする経験はこのような活動を通してでなければ得ることは難しいと感じます。あと、マネージャーさんもめっちゃ募集しています。一緒に白球、いや黄球を追いかけましょう！

主将/嶋倉連太郎  
地域政策学部地域づくり学科・3年



**TAKAKEI  
SOFT BALL  
TEAM**



## 大会成績

### ●全日本大学選手権大会(出場回数32回)

準優勝 3回(1966年、1971年、1972年)  
第3位 2回(2003年、2023年)

### ●東日本大学選手権大会(出場回数38回)

優勝 1回(2009年)  
第3位 5回(2001年、2002年、2012年、2021年、2023年)

### ●関東大学選手権大会(出場回数54回)

優勝 1回(1971年)  
準優勝 1回(1999年)  
第3位 4回(1998年、2005年、2021年、2023年)

### ●関東学生選手権大会(出場回数39回)

優勝 3回(2006年、2011年、2012年)  
準優勝 4回(1985年、2004年、2009年、2018年)  
第3位 6回(1999年、2003年、2010年、2015年、2016年、2023年)

### ●関東学生リーグ

一部 優勝 1回(2011年秋)  
準優勝 6回(2005年秋、2010年春、2011年春、2012年春、2023年春、2023年秋)  
第3位 4回(2007年秋、2010年秋、2012年秋、2022年秋)



# 学科ニュース

TAKAKEI NEWS

## 経済学科

高経大 + 高経附「高大コラボゼミ」  
成果発表会を開催しました

高崎経済大学附属高等学校との高大連携事業「高大コラボゼミ」の成果発表会が、9月5日（火）に本学において開催されました。「高大コラボゼミ」は、経済学科の矢野修一ゼミナール3年生と附属高校3年文系オナークラスの生徒がそれぞれの班に分かれ、半年間に渡って企業研究を行う取り組みです。7月には企業訪問を実施し、企業の担当者に直接質問を行うことで、資料からでは読み解くことのできない企業の姿を掘り下げました。発表では、各班代表の大学生、高校生による英語スピーチに加え、対象企業の現状や課題、改善に向けた提案について報告されました。



## 経済学科

高橋済講師が公共選択学会において  
優秀論文賞を受賞しました

公共選択学会において、高橋済講師の論文「自治体の保育所整備政策における戦略的相互参照行動の考察ー関東圏と関西圏の比較からー」が、2022年度公共選択学会優秀論文賞（黒川賞）を受賞しました。



## 経営学科

「Student Innovation College 2023」で  
佐藤敏久ゼミの学生チームが「テーマ1位」及び  
「吉田秀雄記念事業財団賞」に選ばれました

経営学科の佐藤敏久ゼミナールから参加した4チームのうち1チームが、(株)明成孝橋美術のテーマ「社会課題を解決する印刷製品」で1位となり商品化の権利を得ました。また、あわせて「吉田秀雄記念事業財団賞」も受賞しました。「Student Innovation College 2023」は、全国32大学38ゼミ552名の3年生による169チームが、ゼミ対抗で商品の企画を提案し、発売を目指すインターカレッジです。「秋カン」(大会)でコンセプトを競い、「冬カン」で商品化権を最終プランで競い合い、翌秋カンでは発売実績にもとづき総合優勝を争奪します。



## 国際学科

国際学科海外語学研修  
プレゼンテーション大会を開催しました

10月18日（水）、国際学科主催の「海外語学研修プレゼンテーション大会」が開催されました。国際学科海外語学研修に参加した学生有志7名が、現地での体験や語学研修の魅力を様々な視点でプレゼンテーションしました。個性溢れる発表のなか、今回の最優秀賞には小松歩夢さん（国際学科2年）の「衝撃！ポストン事件簿」が選ばれました。小松さんは「海外を訪れる際のトラブルや不安への対処法を、自身の経験をもとに伝えることができた。オーディエンスを飽きさせないようなプレゼンを心掛けたが、その点を評価していただいたのは素直にうれしい。今回の留学がより意味のあるものになるように、これからの人生に活かしていきたい。」と話していました。



## 地域政策学科

「群馬の地酒」動画コンテスト2023」で  
若林ゼミの学生チームが  
最優秀賞および優秀賞を獲得しました

群馬県酒造組合稲水倶楽部が主催する「群馬の地酒」動画コンテスト2023において、地域政策学科の若林ゼミナールから参加した2チームが最優秀賞および優秀賞を獲得しました。このコンテストは、これからお酒を飲み始める若い世代に、学びを通じて群馬の地酒（日本酒）の魅力に触れ、成果物を生み出すことでスキルアップを図り、より多くの方に「群馬の地酒」の魅力をPR、発信することを目的としています。



## 地域政策学科

「たかしんビジネスプラン・コンテスト2023」で  
最優秀賞を獲得しました

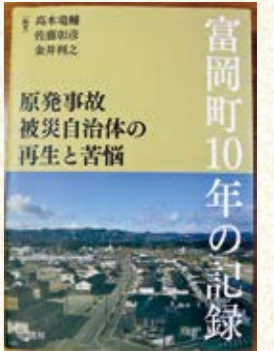
12月16日（土）に高崎信用金庫が主催する「たかしんビジネスプラン・コンテスト2023」において、地域政策学科の山本ゼミナールから参加したチームが最優秀賞を獲得しました。このコンテストは、大学生による斬新なアイデアを新たなビジネスモデルとして活用することにより高崎市の活性化に貢献することを目的としています。高崎市内にある4大学の学生から72件の応募があり、1次審査を経て、9組（本学学生は3組）がプレゼンテーション形式の公開審査に臨みました。



## 地域づくり学科

佐藤彰彦教授が地域社会学会賞  
(共同研究部門)を受賞しました

「地域社会学会第48回大会」において、佐藤彰彦教授が代表を務める科研チーム執筆の書籍「原発事故被災自治体の再生と苦悩ー富岡町10年の記録」(第一法規)が、第16回(2022年度)地域社会学会賞(共同研究部門)を受賞しました。



## 観光政策学科

「駅からハイキング」を開催します

井手拓郎准教授（観光政策学科）と同ゼミに所属する学生が、JR東日本高崎支社・前橋駅と協働で「駅からハイキング」を企画し、2024年2月17日（土）～3月17日（日）に「萩原朔太郎ゆかりの地前橋で多彩な文化を回遊～文化都市前橋巡り～」を開催します。2月17日（土）と3月10日（日）は学生によるハイキングコースのガイドがあります。





第57期体育会本部 代表幹事  
地域政策学部 4年

## 基 大地

# か く よ う さ い 鶴 鷹 祭

鶴鷹祭とは、都留文科大学・高崎経済大学を交互に競技会場として行われる総合体育対抗戦のことであり、非常に歴史のある大会となっております。昭和48年に山梨県の公立大学、都留文科大学の体育館落成記念として空手道部を中心とした対抗戦として始まり、以降徐々に参加団体が増え、第20回大会を機に都留と高崎の文字を「鶴」と「鷹」に置き換え、鶴鷹祭と命名されました。

第25回大会以降、それまで行われていたオープン戦が廃止され、鶴鷹祭は両校の名誉と威信をかけて行われる真剣勝負であるというコンセプトに移り変わっていきました。両大学とも公立大学であり、有名私立のように運動に重点を置く大学ではありませんが、どの部活も総合優勝を目指し、日々の練習の成果を発揮して一生懸命戦います。

また、新型コロナウイルスの影響により、4年ぶりの開催となった今大会は、準備期間が例年の半以下、大会経験者は不在の状況でありましたが、伝統の形を徐々に変化させた「新たな鶴鷹祭」となりました。

現在までの総合成績は都留文科大学24勝、高崎経済大学20勝、2引き分けとなっております。しかし、2023年に開催された第47回鶴鷹祭で高崎経済大学が接戦の末総合優勝を果たし、まさに破竹の勢いで5連覇という功績を築き上げてきました。

この勢いのままに6連覇7連覇と大会を制し、高崎経済大学の黄金時代を形成するとともに、この鶴鷹祭が50年100年と続くことを切に願っております。



# み っ おうぎ さ い 三 扇 祭

## 伝統ある三扇祭の復活と進化を目指して

第66回三扇祭実行委員会 委員長  
経済学部 3年 **大石 太陽**

2023年度の三扇祭を11月3日から5日までの3日間、本学構内にて開催いたしました。

昨年3年ぶりの対面開催を取り戻した三扇祭にとって、今年はコロナ禍以前の活気の復活と昨年以上の進化を目指した年になりました。

復活という点では、学生有志が運営する模擬店とゼミやサークルの活動発表の場である一般企画の数をコロナ禍前の水準まで戻すことで学生の参加数が大幅に増加し、大学構内に昨年以上の活気が戻りました。

進化という点では、地域企業とのつながりの強化に取り組みました。特に高崎オーパ様との連携企画「TAKAKEI CONTEST 2023」では、事前投票を高崎オーパで行ったり受賞者の活動を応援していただいたりと、三扇祭を地域に浸透させるだけでなく学

生の活動の幅を広げるきっかけにもなりました。  
第66回三扇祭のテーマは「Cheers!」。英語で「乾杯」という意味から大学全体でのお祭り騒ぎと、スラングでの「感謝」という意味から普段お世話になっている方々へ感謝を伝える三扇祭にしようという願いが込められています。非常に多くの方々に支えられて実現した三扇祭で、皆様に感謝をお伝えできておりましたら幸いです。

来場者数は昨年の2倍となる約9000人と大きく飛躍した三扇祭ですが、本学の歴史とともにさらに大きく、伝統として末永く続いていくことを祈念しております。

最後になりますが、第66回三扇祭の開催にご尽力いただいた皆様、ご来場いただいた皆様へ、この場をお借りして実行委員を代表して御礼申し上げます。



# たか けい INFORMATION

## 大学事務局からのお知らせ

### 高崎市の特産品を配布しました

11月28日(火)・29日(水)の2日間、学生が新型コロナウイルス感染症の影響による行動制限や自粛要請によって、高崎の魅力を知る機会が少なかったことを踏まえ、全国から集まる本学の学生に高崎の豊富な特産品を知ってもらい、高崎経済大学の学生らしさが醸成される機会となるよう、特産品配布事業を実施しました。



株式会社キンセイ産業様 (令和5年7月31日)



株式会社キーテクノロジー様 (令和5年9月22日)

### 高崎経済大学基金について

高崎経済大学では、全国の卒業生及び保護者の皆様、地域の皆様をはじめ、多くの方からいただいた寄附金を様々な学生支援事業に活用させていただいております。皆様の温かいご支援に心より感謝申し上げます。

#### 高崎経済大学基金の名称

- 高崎経済大学三扇基金 ●糸井ホールディングススポーツ活動奨励基金
- キーテクノロジー留学奨励基金

#### 基金活用実績

- 物価高に対する経済対策支援 ●スポーツ活動奨励奨学金貸与
- 留学奨励金給付

#### ご支援いただいた方への顕彰

高崎経済大学基金にご支援をいただいた方に感謝の意を表し、大学ホームページにご芳名を掲載させていただきます。(ただし、公表をご希望されない方については掲載いたしません。)また、本基金では、寄附金額に応じ寄附者の方へ感謝状を贈呈しております。賜りましたご厚志は、ご寄附の趣旨に沿い、有効に活用させていただきます。



小見紀久男様 (令和5年7月25日)

### 高崎経済大学三扇基金へのご寄附のお願い

高崎経済大学三扇基金では、「教育環境の整備」、「学資の貸与や給付」、「就職活動への支援」、「課外活動の充実及び甚大な災害により被害を受けた学生への特別な支援」を目的とした寄附金を募っています。寄附の申込方法等詳細については、本学のホームページをご確認いただくか、経理チームまでお問合せください。皆様におかれましては、本基金の趣旨をお汲み取りいただき、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■問合せ先  
総務グループ経理チーム  
027-343-5416 (kikin@tcue.ac.jp)



詳細はこちら

### ボランティア活動

「大学生生活を充実させたい」「仲間に出会いたい」「興味があるけれどどうやって探したらいいかわからない」などボランティアに関する様々な相談に乗っています。ボランティア活動を通して、授業やアルバイトでは得られない経験をしてみませんか。学生協働スタッフも活動しています。興味のある方はボランティア支援室まで!

#### 令和5年度活動実績

- 学生ボランティア登録数 471人 (令和6年1月現在)
- 令和5年度 派遣人数 1,088人 (令和6年1月現在)
- 主な活動先
  - ・高崎市環境フェア2023 ・高崎まつりボランティアリーダー
  - ・たかさきハロウィン実行委員 ・キングオブパスタ
  - ・市内小中学校学習支援 等

■問合せ先  
学生ボランティア活動支援室  
027-329-6714 (volunteer@tcue.ac.jp)



## 健康診断について

4月に定期健康診断を実施します。全日程、予約制です。詳しい予約方法については、3月上旬にポータルサイトのほかホームページでお知らせいたします。健康診断の結果は、就職活動・実習・大会参加・留学関係・バイト関係等、様々な場面で必要となりますので、必ず受けてください。

◎予約開始日時：3月18日（月）10時から

◎健診受付予約時間：各日、9時から16時まで 10分単位での予約

◎健診に要する時間：おおむね40分

◎健診受付場所：7号館2階

■問合せ先 保健室 027-343-5418 (hoken@tcue.ne.jp)

■学生サポートルーム 027-344-7502 (supportroom@tcue.ac.jp)

## 学生相談について

学生生活におけるあらゆる相談を受け付けています。公認心理師等が、心の不安、人間関係に関するご悩みなどをお伺いいたします。保護者からのご相談もお受けしています。学生と一緒に、もしくは保護者の方のみでも構いません。個人にかかわる相談内容等の秘密は厳守しますので、安心して相談してください。

## 障害学生支援について

障害等の理由により、修学上の支援が必要な学生に対し様々な支援を行っています。支援を希望する方は、学生サポートルームにご相談ください。本人の状況を考慮し、対応方法を検討します。

### ○主な支援内容

①視覚障害	・ノートテイク、授業資料等のテキスト化、代筆・代読 ・定期試験時の支援(時間延長、問題の読み上げ等)
②聴覚障害	・ノートテイク、定期試験時の支援 (リスニング試験等の配慮)
③発達障害	・講義の録音許可、パソコン筆記の許可、 連絡の個別伝達、座席の配慮

上記以外の障害・支援内容についてもご相談ください。

※相談は、面談のほか、Web、電話、メールでも行うことができます。

■問合せ先 学生サポートルーム

027-344-7502 (supportroom@tcue.ac.jp)

## 同窓会からのお知らせ

### 支部総会の開催について

今年度各地で開催された、同窓会支部総会です。

No.	支部名	開催日	開催地
1	桐生支部	5月13日(土)	美喜仁館本店
2	栃木支部	6月17日(土)	ホテルサンルート佐野
3	福島支部	8月26日(土)	姑娘飯店
4	宮城支部	9月9日(土)	TKP仙台駅北
5	東海支部	9月16日(土)	名鉄グランドホテル
6	京滋支部	10月14日(土)	リーガロイヤルホテル京都
7	オホーツク支部	10月14日(土)	北見プラザホテル
8	広島支部	10月21日(土)	広島グランドインテリジェントホテル
9	大分支部	10月21日(土)	ふく亭本店
10	長野支部	10月28日(土)	ホテル信濃路
11	関西支部	11月11日(土)	新大阪ワシントンホテルプラザ
12	鹿児島支部	11月11日(土)	鹿児島サンロイヤルホテル
13	札幌支部	11月25日(土)	ホテル札幌ガーデンパレス
14	飯田支部	11月25日(土)	会席料理 とりきん
15	青森支部	11月25日(土)	青森県立美術館
16	福井支部	11月30日(木)	福井市順化1-17-28
17	愛媛支部	12月2日(土)	坂の上の雲ミュージアム
18	徳島支部	1月20日(土)	ホテルアストリア

### ■問合せ先

同窓会事務局(学生支援チーム)

027-329-6693

同窓会に関する情報はこちら



## 後援会からのお知らせ

### 令和5年度の活動トピックス

#### 「支部総会」を開催

今年度、支部総会を関東甲信越・東北・北陸・東海・四国・北海道の6支部で開催しました。支部総会では後援会からの決算・予算の報告や大学からの現況報告のほか、保護者向けセミナーとして「学生の就職」に焦点をあてた就職情報会社による講演やOB・OGによる就職体験談などを聴いていただきました。また、今回、都合により会場に足を運べない保護者に向けて、関東甲信越支部総会の模様をZoom配信させていただきました。

#### 「学生応援チケット」を配布

物価高騰の中、生活に困窮する学生への支援を行うため、生協での食事や購買に利用できる「学生応援チケット」(1人5,000円分)を配布しました。学生を取り巻く生活環境は今後とも厳しい状況が予想されますので、引き続き支援を行っていく予定です。

#### 保護者の皆さんへ「就職情報の提供」

学生就職に関する情報提供として、3年次生の保護者へ「保護者版・就職ハンドブック」を配布し、2年次生の保護者へ「就職ハンドブックのダイジェスト版」を昨年に引き続き配布しました。昨今の学生の就職事情がわかる資料です。ぜひ、御一読ください。

### TOEIC及び外国語検定試験成績優秀者表彰

TOEIC公開テストで700点以上を獲得した学生及び外国語検定試験(ドイツ語、フランス語、スペイン語、中国語、ハングル及びイタリア語)を受験して優秀な成績を収めた学生に表彰状と記念品を贈呈します。

### 高経会館の利用について

大学より徒歩5分にある建つ宿泊・研修施設です。宿泊室は全て個室となっており、教職員だけでなく、学生、保護者や同窓生もご利用いただけます。宿泊を予約する場合は下記後援会事務局まで電話にてお申込みください。尚、学生の利用にあたり、通学を目的とする日常的、継続的な宿泊利用については制限させて頂いておりますので、ご了承ください。

### 令和6年度の支部総会について

令和6年度の支部総会の開催日程については、7月中旬を目途にホームページ及び保護者宛の通知にてお知らせする予定です。



令和5年度 関東甲信越支部総会

■問合せ先 後援会事務局 027-344-7902(内線1581・1582)

